

『逆差別』



逆差別とは、これまで不利な立場に置かれてきた人を支援するための制度や配慮について、別の立場の人が不公平だと感じることで使われる言葉です。例えば、大学入試における理系の女性枠は、女性が少なかった分野で学ぶ機会を広げる目的で設けられています。一方で、性別

によって応募条件が異なることから、男性にとっては「逆差別」と考えられることもあります。しかし、こうした制度は特定の人を優遇するためのものではなく、これまでの偏りをなくし、機会の公平性を高めることを目的としています。背景や意図を踏まえて考えることが大切です。



Pastel News

第9期大田区男女共同参画推進プランができました!



少子高齢化や人口減少、働き方の多様化、ケア労働の増加など、社会構造が大きく変化する中で、誰もがその個性と能力を十分に発揮できる持続可能な社会の実現が求められています。男女共同参画のさらなる推進に向けて、大田区では令和8(2026)年度から令和12(2030)年度を期間とする「第9期大田区男女共同参画推進プラン」を策定しました。

基本理念



誰もがお互いを尊重し
自分らしく輝けるまち 大田区



～地域みんなで男女共同参画のまちづくり～

基本目標

I 誰もが尊重される社会をめざします

個別目標I-1

人権尊重とジェンダー平等意識の向上

個別目標I-2

多様な個性を認める意識の醸成



II 安全・安心に過ごせるまちを築きます

個別目標II-1

ジェンダーに基づく暴力(GBV)の根絶

個別目標II-2

ジェンダーの視点に立った生活上の困難に対する支援

個別目標II-3

防災・復興における男女共同参画の推進



III 誰もが活躍できる環境づくりを応援します

個別目標III-1

仕事と家庭の両立に向けた取組の強化

個別目標III-2

ワーク・ライフ・バランスの推進

個別目標III-3

生涯を通じた男女の健康支援

